

平成 27 年 5 月 1 日

大臣官房技術調査課
大臣官房公共事業調査室
大臣官房官庁営繕部整備課
総合政策局公共事業企画調整課

公共工事等における新技術活用システム（NETIS）における 平成 27 年度推奨技術等の選定結果について ～他機関との新技術情報共有～

国土交通省では、民間企業等により開発された有用な新技術の活用促進を図るため「公共工事等における新技術活用システム（NETIS）」を運用しています。

平成 27 年度推奨技術等選定結果や他機関における新技術活用・評価情報など現場導入を支援するための新技術情報についてお知らせします。

1. 推奨技術等の選定

国土交通省では、活用・評価を行った新技術の内、公共工事等における幅広い活用や飛躍的な改善効果が期待できる画期的な技術を有識者会議（新技術活用システム検討会議）において「推奨技術」「準推奨技術」等として平成 19 年度より選定しています。

この度、平成 27 年度推奨技術として 2 技術、準推奨技術として 6 技術、評価促進技術として 5 技術、一般化・標準化技術として 1 技術を選定しました（次頁および別紙 1～4 参照）。

また、有用な技術を幅広く選定できるよう、平成 27 年度選定より、以下のように取り組んでいます。

- ・地方整備局・関係研究機関・第三者機関等に加え、新たに地方公共団体からの推薦受け入れ（別紙 5 参照）
- ・地方整備局等以外の機関の実績に基づき、公共工事等に関する技術水準を高めることが見込める技術を「評価促進技術」として選定
- ・「公共工事等で使用する技術指針等に示される」または「公共工事等の施工に当たり、一般的に選択し、活用されている技術」を「一般化・標準化技術」として選定。

2. 地方公共団体等他機関との連携

NETIS 登録された新技術については、従来、国の現場で活用・評価された結果について公表していました。この度、有用な技術の現場導入促進を図るため、公共工事等における新技術について登録・評価等を行う制度を有する機関と情報共有を開始します。

対象技術：5 地方公共団体（新潟県、長野県、静岡県、山口県、高知県）および 2 学会（土木学会、地盤工学会）より推薦のあった約 170 技術（別紙 6 参照）。

公共工事等における新技術について登録・評価等を行う制度を有する機関を対象に、拡大予定。

情報共有方法：各技術 NETIS 情報に「他機関の評価結果」の閲覧機能追加

開始時期：平成 27 年 5 月半ば（予定）

<問い合わせ先>

○国土交通省大臣官房技術調査課 課長補佐 林 利行 代表：03-5253-8111（内線 22343）、直通：03-5253-8125、fax：03-5253-1536
国土交通省大臣官房公共事業調査室 専門官 鈴木 純 代表：03-5253-8111（内線 24294）、直通：03-5253-8258、fax：03-5253-1560
国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 専門官 城澤 道正 代表：03-5253-8111（内線 23514）、直通：03-5253-8238、fax：03-5253-1544
国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 課長補佐 小櫃 基住 代表：03-5253-8111（内線 24953）、直通：03-5253-8286、fax：03-5253-1556

<「推奨技術」等の年度ごとの選定数>

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H26年度	H27年度
推奨技術	0 技術	0 技術	1 技術	1 技術	4 技術	4 技術	11 技術	2 技術
準推奨技術(推奨技術候補)	2 技術	4 技術	7 技術	6 技術	4 技術	15 技術	18 技術	6 技術
評価促進技術	-	-	-	-	-	-	-	5 技術
一般化・標準化技術	-	-	-	-	-	-	-	1 技術

※選定が取り消された技術、準推奨技術に選定後推奨技術へ再度選定された技術等があるため、上記の合計と推奨・準推奨技術数の合計は一致しません。

- 平成 27 年度推奨技術（新技術活用システム検討会議(国土交通省)）
 - ・インバイロワン工法
（副題）鋼製橋梁長寿命化のための、はく離剤による塗膜除去・回収技術
 - ・塗布形素地調整軽減剤
（副題）物理的素地調整法に変わる塗布形素地調整剤『サビシャット』（一般用）
『サビシャットスーパー』（塩害地区用）
- 平成 27 年度準推奨技術（新技術活用システム検討会議(国土交通省)）
 - ・ギガショット
（副題）
 - ・インシチュフォーム工法（INS 工法）
（副題）管渠更生工法
 - ・SGICP工法
（副題）非開削にて老朽管きよを更生
 - ・アテムウォール
 - ・GTフレーム工法
（副題）ジオグリッドおよび短繊維混合補強砂を用いたのり面表層保護工
 - ・RCネット工法（高エネルギー吸収型落石防護網）
（副題）高いエネルギー吸収性能を有する落石防護網工
- 評価促進技術（新技術活用システム検討会議(国土交通省)）
 - ・UCIS（ケーソン無人化据付システム）
（副題）海上工事における無人化施工技術
 - ・END 工法
（副題）「環境浚渫(ENvironmental Dredging) 工法」 環境対応型薄層グラブ浚渫技術

- ・鉄鋼スラグ水和固化体製造技術
（副題）産業副産物の港湾工事材料への活用技術
- ・小型積ブロック（アニーヴン、ポーラスアニーヴン）
（副題）深目地で明度が低い積みブロック
- ・ブランチブロック工法
（副題）自然調和型土木構造物

■ 一般化・標準化技術（新技術活用システム検討会議（国土交通省））

- ・ハット形鋼矢板 900
（副題）建設コスト縮減に寄与する新断面鋼矢板

<添付資料>

- （別紙 1）「推奨技術」等の選定について
- （別紙 2）平成 27 年度 推奨技術および準推奨技術概要
- （別紙 3）平成 27 年度 準推奨技術および評価促進技術概要
- （別紙 4）有用な新技術の位置付け
- （別紙 5）新技術活用システム実施要領改正概要
- （別紙 6）他機関との連携

（参考 1）平成 27 年度 推奨技術および準推奨技術

（参考 2）評価促進技術および一般化・標準化技術